

1 自己評価及び外部評価結果

【事業所概要(事業所記入)】

【事業所概要（事業所記入）】			
事業所番号	3290400427		
法人名	みなとの丘グループ株式会社		
事業所名	グループホーム風の丘		
所在地	島根県出雲市小津町23番地1		
自己評価作成日	令和7年 3月 3日	評価結果市町村受理日	

※事業所の基本情報は、公表センターページで閲覧してください。(↓このURLをクリック)

基本情報リンク先	https://www.kaigokensaku.mhlw.go.jp/32/index.php?action=kouhyou_detail_022_kani=true&JigyosyoCd=3290400427-00&ServiceCd=320&Type=search
----------	---

【評価機関概要(評価機関記入)】

評価機関名	有限会社 保健情報サービス
所在地	鳥取県米子市米原2丁目7番7号
訪問調査日	令和7年 3月 22日

【事業所が特に力を入れている点・アピールしたい点(事業所記入)】

施設は緑豊かな場所にあり、季節の風を感じることができる。畑では花や野菜を育てている。職員は利用者の方と意識的に関わり、洗濯物をたたんで頂いたり、調理ができる方には一緒に野菜を切ってもらったり、一瞬でもその方の力が発揮できる場面を共有できるようにしている。そして、使い慣れたコップや箸、居室には家具や小物を持参して頂くことで、「風の丘」が生活の場として感じてもらえるよう努めている。また、社会とつながり、地域と共に暮らしていけるケアを目指している。

医療面では、本人及び家族が継続して馴染みのあるかかりつけ医による診察を希望される場合、本人の思いを大切に、家族の方と共に受診、訪問診療の支援をしている。

【外部評価で確認した事業所の優れている点、工夫点(評価機関記入)】

開設から間もなく12年目を迎えられる2ユニット2階建ての定員18名のグループホームです。緑豊かで、近くには漁港もあり、新鮮な魚を頂かれたり、地域の祭にも利用者と一緒に出掛けられる等、ホームも地域の一人として交流が継続しています。畑では花や野菜を育て、収穫された夏野菜やさつま芋は献立やおやつとしても提供されています。「尊重し、穏やかな生活を彩る支援」を理念に職員は利用者の方と意識的に関わり、洗濯物をたたんで頂いたり、調理ができる方には一緒に野菜を切ってもらったり、一瞬でもその方の力が発揮できる場面を共有できるようにしておられます。そして、使い慣れたコップや箸、居室には家具や小物を持参して頂くことで、「風の丘」が生活の場として感じてもらえるよう努めておられます。家族へはLINEで動画を送られたり、広報誌で利用者の様子がわかるよう工夫をされ関係性が築けるよう図られています。

V. サービスの成果に関する項目(アウトカム項目) ※項目No.1～55で日頃の取り組みを自己点検したうえで、成果について自己評価します

項 目		取 り 組 み の 成 果 ↓該当するものに○印		項 目		取 り 組 み の 成 果 ↓該当するものに○印	
56	職員は、利用者の思いや願い、暮らし方の意向を掴んでいる (参考項目:23,24,25)	○	1. ほぼ全ての利用者の 2. 利用者の2/3くらい 3. 利用者の1/3くらい 4. ほとんど掴んでいない	63	職員は、家族が困っていること、不安なこと、求めていることをよく聴いており、信頼関係ができている (参考項目:9,10,19)	○	1. ほぼ全ての家族と 2. 家族の2/3くらいと 3. 家族の1/3くらいと 4. ほとんどできていない
57	利用者と職員が、一緒にゆったりと過ごす場面がある (参考項目:18,38)	○	1. 毎日ある 2. 数日に1回程度ある 3. たまにある 4. ほとんどない	64	通いの場やグループホームに馴染みの人や地域の人々が訪ねて来ている (参考項目:2,20)	○	1. ほぼ毎日のように 2. 数日に1回程度 3. たまに 4. ほとんどない
58	利用者は、一人ひとりのペースで暮らしている (参考項目:38)	○	1. ほぼ全ての利用者が 2. 利用者の2/3くらいが 3. 利用者の1/3くらいが 4. ほとんどいない	65	運営推進会議を通して、地域住民や地元の関係者とのつながりが広がったり深まり、事業所の理解者や応援者が増えている (参考項目:4)	○	1. 大いに増えている 2. 少しずつ増えている 3. あまり増えていない 4. 全くいない
59	利用者は、職員が支援することで生き生きした表情や姿がみられている (参考項目:36,37)	○	1. ほぼ全ての利用者が 2. 利用者の2/3くらいが 3. 利用者の1/3くらいが 4. ほとんどいない	66	職員は、生き活きと働けている (参考項目:11,12)	○	1. ほぼ全ての職員が 2. 職員の2/3くらいが 3. 職員の1/3くらいが 4. ほとんどいない
60	利用者は、戸外の行きたいところへ出かけている (参考項目:49)	○	1. ほぼ全ての利用者が 2. 利用者の2/3くらいが 3. 利用者の1/3くらいが 4. ほとんどいない	67	職員から見て、利用者はサービスにおおむね満足していると思う	○	1. ほぼ全ての利用者が 2. 利用者の2/3くらいが 3. 利用者の1/3くらいが 4. ほとんどいない
61	利用者は、健康管理や医療面、安全面で不安なく過ごしている (参考項目:30,31)	○	1. ほぼ全ての利用者が 2. 利用者の2/3くらいが 3. 利用者の1/3くらいが 4. ほとんどいない	68	職員から見て、利用者の家族等はサービスにおおむね満足していると思う	○	1. ほぼ全ての家族等が 2. 家族等の2/3くらいが 3. 家族等の1/3くらいが 4. ほとんどできていない
62	利用者は、その時々状況や要望に応じた柔軟な支援により、安心して暮らせている (参考項目:28)	○	1. ほぼ全ての利用者が 2. 利用者の2/3くらいが 3. 利用者の1/3くらいが 4. ほとんどいない				

自己評価および外部評価結果

〔セル内の改行は、(Altキー)＋(Enterキー)です。〕

自己	外部	項 目	自己評価	外部評価	
			実践状況	実践状況	次のステップに向けて期待したい内容
I.理念に基づく運営					
1	(1)	○理念の共有と実践 地域密着型サービスの意義をふまえた事業所理念をつくり、管理者と職員は、その理念を共有して実践につなげている	理念は事務所、玄関に掲示している。そして、職員会議にて理念の読み合わせをして共有、定着、実践に努めている。	理念は事務所、玄関に掲示されており、職員会議にて理念の読み合わせ行ない、共有、定着、実践に努めておられます。新人職員も多いので、理念を理解し実践につながるよう取組まれています。	
2	(2)	○事業所と地域とのつきあい 利用者が地域とつながりながら暮らし続けられるよう、事業所自体が地域の一員として日常的に交流している	利用者と一緒に地域の祭り、漁港等に出かけ、地域と交流の機会がもてるよう支援している。	グループホームの夏祭りを開催され、地域の方との交流も行われ、近くの漁港から魚を頂かれることもあり、利用者と一緒に地域の祭り、漁港等に出掛けられ交流の機会がもてるよう支援されています。地域のコミュニティセンター祭には利用者が作られた作品を出展されています。	
3		○事業所の力を活かした地域貢献 事業所は、実践を通じて積み上げている認知症の人の理解や支援の方法を、地域の人々に向けて活かしている	実践を通じて認知症の人の理解や支援方法を積み上げてきている。しかし、それらを地域の人々に向けては活かしきれていない。		
4	(3)	○運営推進会議を活かした取り組み 運営推進会議では、利用者やサービスの実際、評価への取り組み状況等について報告や話し合いを行い、そこでの意見をサービス向上に活かしている	地域の方に参加して頂き運営推進会議を実施している。そして、実践内容を報告したり、意見を聞き、サービス向上に生かしている。	2か月に1度行政や地域の方々に参加して頂き運営推進会議が開かれています。実践内容の報告され、意見を伺いサービス向上に活かせるよう図られています。地域から参加されている委員から地域の情報を得ておられます。	行政の方から他の施設での好事例を教えてください。また、昼食試食会や避難訓練の様子を見て頂きご意見を頂かれる事も良いと思います。
5	(4)	○市町村との連携 市町村担当者と日頃から連絡を密に取り、事業所の実情やケアサービスの取り組みを積極的に伝えながら、協力関係を築くよう取り組んでいる	メールや電話にて実践内容を報告し、意見を伺いサービス向上に取り組んでいる。	毎月入退居人数の報告をされ、メールや電話にて、毎月入退居者の人数、実践内容を報告し、2か月に1度介護相談員が来られ、意見を伺いサービス向上に取り組まれています。	
6	(5)	○身体拘束をしないケアの実践 代表者および全ての職員が「介指定基準における禁止の対象となる具体的な行為」を正しく理解しており、玄関の施錠を含めて身体拘束をしないケアに取り組んでいる	身体的拘束等適正化のための指針を作成。職員がいつでも指針を確認できるよう整備している。そして、身体拘束廃止委員会により、尊厳のあるケアが行われているか検討している。	3ヶ月に1度身体拘束廃止委員会を開かれ、尊厳のあるケアが行われているか検討されており、身体的拘束等適正化のための指針を作成されています。職員がいつでも指針を確認できるよう整備されています。基本的なフィジカルロックについて職員は理解されています。	

自己	外部	項 目	自己評価	外部評価	
			実践状況	実践状況	次のステップに向けて期待したい内容
7		○虐待の防止の徹底 管理者や職員は、高齢者虐待防止関連法について学ぶ機会を持ち、利用者の自宅や事業所内での虐待が見過ごされることがないように注意を払い、防止に努めている	毎月、施設内で職員がテーマを決め、高齢者虐待防止を含めた職員研修を実施している。研修後は、各自が研修報告書を作成、実践に活かしている。	虐待防止委員会は3ヶ月に1度開かれ、指針を作成されています。また、毎月、施設内で職員がテーマを決め、高齢者虐待防止を含めた職員研修を実施されています。研修後は、各自が研修報告書を作成、実践に活かされています。	
8		○権利擁護に関する制度の理解と活用 管理者や職員は、日常生活自立支援事業や成年後見制度について学ぶ機会を持ち、個々の必要性を関係者と話し合い、それらを活用できるよう支援している	日常生活自立支援事業や成年後見制度の活用についての職員研修を実施している。そして、必要と考えられる場合には高齢者あんしん支援センター等の関係者と支援したいと考えている。		
9		○契約に関する説明と納得 契約の締結、解約又は改定等の際は、利用者や家族等の不安や疑問点を尋ね、十分な説明を行い理解・納得を図っている	契約、改訂等の際には十分な説明を行い、理解、納得をして頂いている。		
10	(6)	○運営に関する利用者、家族等意見の反映 利用者や家族等が意見、要望を管理者や職員ならびに外部者へ表せる機会を設け、それらを運営に反映させている	意見箱を設置している。また、ケアプラン作成時に利用者、家族の意見、要望をお聞きしてケアに活かしている。	利用者からは日々の会話から意見を伺い、意見箱も設置されています。ケアプラン作成時に利用者、家族の意見、要望を聞かれ、家族から面会時にも意見・要望を聞かれています。LINEで動画を送られたり、広報誌も送られ、利用者の様子が分かるよう配慮されています。	
11	(7)	○運営に関する職員意見の反映 代表者や管理者は、運営に関する職員の意見や提案を聞く機会を設け、反映させている	職員会議を毎月開催し、職員の意見や提案を聞き反映させている。	職員会議を毎月開催し職員の意見や提案を聞き、その後ユニットごとにモニタリングを兼ねた会が行われ、職員からの意見・提案は施設長に報告し反映できるよう図られています。	
12		○就業環境の整備 代表者は、管理者や職員個々の努力や実績、勤務状況を把握し、給与水準、労働時間、やりがいなど、各自が向上心を持って働けるよう職場環境・条件の整備に努めている	代表者が各職員と面談を実施し、話し合いの機会を設けている。そして、職員が笑顔で働ける職場であることに努めている。	代表者が各職員と年に1回以上面談を実施し、話し合いの機会を設けておられ、代表者は職員の思いを大切に働きやすい職場環境になるよう努めておられます。	
13		○職員を育てる取り組み 代表者は、管理者や職員一人ひとりのケアの実際と力量を把握し、法人内外の研修を受ける機会の確保や、働きながらトレーニングしていくことを進めている	研修担当の職員を中心に、法人内の研修の企画を行っている。法人外では、認知症実践者研修等に参加している。	研修担当の職員を中心に、法人内の研修の企画が行われており、WEBも取り入れています。法人外研修では、認知症実践者研修等に積極的に参加されています。	

自己	外部	項 目	自己評価	外部評価	
			実践状況	実践状況	次のステップに向けて期待したい内容
14		○同業者との交流を通じた向上 代表者は、管理者や職員が同業者と交流する機会を作り、ネットワークづくりや勉強会、相互訪問等の活動を通じて、サービスの質を向上させていく取り組みをしている	認知症実践者研修、ケアマネ研修等に参加している。そして、研修では同業者の職員と交流し、互いのサービス改善に活かしている。		
Ⅱ.安心と信頼に向けた関係づくりと支援					
15		○初期に築く本人との信頼関係 サービスを導入する段階で、本人が困っていること、不安なこと、要望等に耳を傾けながら、本人の安心を確保するための関係づくりに努めている	本人、家族の思いを傾聴して、信頼関係が築けるよう努めている。そして、情報提供書等の活用をはじめ、職員同士でケアの方向性について話し合いをしている。		
16		○初期に築く家族等との信頼関係 サービスを導入する段階で、家族等が困っていること、不安なこと、要望等に耳を傾けながら、関係づくりに努めている	インテークの段階から、家族等が困っていること、不安なこと、要望等に耳を傾け、関係づくりに努めている。		
17		○初期対応の見極めと支援 サービスを導入する段階で、本人と家族等が「その時」まず必要としている支援を見極め、他のサービス利用も含めた対応に努めている	本人、家族、医療機関、居宅介護支援事業所等の意見を踏まえ、グループホームへの入居が最適なのか検討したうえで入居して頂いている。		
18		○本人と共に過ごし支えあう関係 職員は、本人を介護される一方の立場におかず、暮らしを共にする者同士の関係を築いている	自立支援の視点でなるべく見守りを中心に行い、できないところは支援している。利用者は人生の先輩であり、職員が教えて頂く場面を作り「役割」を感じて頂いている。		
19		○本人を共に支えあう家族との関係 職員は、家族を支援される一方の立場におかず、本人と家族の絆を大切にしながら、共に本人を支えていく関係を築いている	何かあればすぐに家族へ連絡をしている。また、定期的に利用者の日頃の様子について報告をして、共に本人を支えていく関係を築いている。		
20	(8)	○馴染みの人や場との関係継続の支援 本人がこれまで大切にしてきた馴染みの人や場所との関係が途切れないよう、支援に努めている	馴染みの人との交流の場を提供している。家族等からの情報をもとに馴染みの人や場所を会話の中に取り入れるようにしている。	定期的に行われている音楽鑑賞会に家族に来て頂いたり、馴染みの人との交流の場を提供されています。感染症対策のため、まだ十分に外出できないことありますが、家族等からの情報を基に馴染みの人や場所を会話の中に取り入れるようにされています。	
21		○利用者同士の関係の支援 利用者同士の関係を把握し、一人ひとりが孤立せずに利用者同士が関わり合い、支え合えるような支援に努めている	利用者の心身に配慮した座席を決め、入居者同士が良い関係を築いていけるよう努めている。		

自己	外部	項目	自己評価	外部評価	
			実践状況	実践状況	次のステップに向けて期待したい内容
22		○関係を断ち切らない取組み サービス利用(契約)が終了しても、これまでの関係性を大切にしながら、必要に応じて本人・家族の経過をフォローし、相談や支援に努めている	契約終了後も、必要に応じて本人、家族にとって最適な環境について考え、支援するよう努めている。		
Ⅲ. その人らしい暮らしを続けるためのケアマネジメント					
23	(9)	○思いや意向の把握 一人ひとりの思いや暮らし方の希望、意向の把握に努めている。困難な場合は、本人本位に検討している	家族を含め、本人との会話、表情等から意向の把握に努めている。そして、本人を中心としたケアを心がけている。	積極的に思いを表出される方は少ないですが、家族を含め、本人との会話、表情等から意向の把握に努めておられ、本人を中心としたケアを心掛けておられます。	思いや意向から生きがいや長生きをするための目標に繋げて行かれると良いと思います。。
24		○これまでの暮らしの把握 一人ひとりの生活歴や馴染みの暮らし方、生活環境、これまでのサービス利用の経過等の把握に努めている	本人、家族からの聞き取り、情報提供書により生活歴の把握に努めている。		
25		○暮らしの現状の把握 一人ひとりの一日の過ごし方、心身状態、有する力等の現状の把握に努めている	毎日、職員が一人ひとりの生活を含めた状況確認を実施、記録をしている。		
26	(10)	○チームでつくる介護計画とモニタリング 本人がより良く暮らすための課題とケアのあり方について、本人、家族、必要な関係者と話し合い、それぞれの意見やアイデアを反映し、現状に即した介護計画を作成している	本人、家族、関係者と話し合い、利用者の気持ちを大切に介護計画作成に努めている。	短期目標は6ヶ月毎に評価・見直しが行われています。計画作成者を中心にモニタリング行ない、ユニット毎に利用者の状況を話し合われています。本人、家族からの意向を確認され、関係者と話し合い、利用者の気持ちを大切に介護計画作成になるよう努めておられます。	
27		○個別の記録と実践への反映 日々の様子やケアの実践・結果、気づきや工夫を個別記録に記入し、職員間で情報を共有しながら実践や介護計画の見直しに活かしている	日々の記録、情報共有を行っている。モニタリングも含め、日々のケア、介護計画の見直しに活かしている。	記録は手書きで行われており、新人職員も多いのでケアプランの内容の理解、記録の書き方についての指導が行われています。ケアプランの評価・見直しの情報として、気付きのための留意点についても伝えられ、日々の記録、情報共有が行われています。	生算性の向上に向けICT導入の検討をされる事も良いと思います。
28		○一人ひとりを支えるための事業所の多機能化 本人や家族の状況、その時々生まれるニーズに対応して、既存のサービスに捉われない、柔軟な支援やサービスの多機能化に取り組んでいる	本人や家族と話し合い、要望に応じた支援に取り組んでいる。急変時には病院への送迎、付き添い等、個別のニーズに対応している。		

自己	外部	項 目	自己評価	外部評価	
			実践状況	実践状況	次のステップに向けて期待したい内容
29		○地域資源との協働 一人ひとりの暮らしを支えている地域資源を把握し、本人が心身の力を発揮しながら安全で豊かな暮らしを楽しむことができるよう支援している	暮らしに関わる社会資源を把握、活用している。利用者が残存能力を活かした、本人らしい生活ができるよう支援している。		
30	(11)	○かかりつけ医の受診支援 受診は、本人及び家族等の希望を大切にし、納得が得られたかかりつけ医と事業所の関係を築きながら、適切な医療を受けられるように支援している	本人及び家族が安心して医療を受けられるよう、かかりつけ医に報告、情報共有を行っている。必要時には、オンライン診療につなげている。	本人の希望するかかりつけ医にされており、本人及び家族が安心して医療を受けられるよう、かかりつけ医に報告、情報共有を行っておられます。往診に来られた際にはミーティングを行ない、記録も残されています。必要時には、オンライン診療につなげておられます。専門医等の他科受診は職員の受診支援が行われています。歯科の往診もあります。	
31		○看護職との協働 介護職は、日常の関わりの中でとらえた情報や気づきを、職場内の看護職や訪問看護師等に伝えて相談し、個々の利用者が適切な受診や看護を受けられるように支援している	訪問看護ステーションと連携、情報共有をしている。病状の把握、早期治療につなげている。		
32		○入退院時の医療機関との協働 利用者が入院した際、安心して治療できるように、又、できるだけ早期に退院できるように、病院関係者との情報交換や相談に努めている。あるいは、そうした場合に備えて病院関係者との関係づくりを行っている。	入院時に医療機関へ利用者の情報提供をしている。入院中も職員が家族と連絡をとったり、医療機関と早期退院に向け情報共有を行っている。	入院時には病院の地域連携室と連携を図り、利用者の情報提供が行われています。入院中も職員が家族と連絡をとったり、医療機関と早期退院に向け情報共有を行っておられます。退院カンファレンスに参加され、退院後の生活の注意点等アドバイスをもらわれています。	
33	(12)	○重度化や終末期に向けた方針の共有と支援 重度化した場合や終末期のあり方について、早い段階から本人・家族等と話し合いを行い、事業所でできることを十分に説明しながら方針を共有し、地域の関係者と共にチームで支援に取り組んでいる	重度化した場合や終末期のあり方について本人、家族の意向を踏まえながらかかりつけ医と相談して対応している。また、グループホームにおける重度化対応に関する指針を作成している。	利用開始時に説明をされ同意を頂かれています。重度化した場合や終末期のあり方について本人、家族の意向を踏まえながらかかりつけ医と相談して対応をされています。また、グループホームにおける重度化対応に関する指針を作成されています。医療行為が多くなれば病院や施設移行をが検討されています。基本的には看取り対応は行われていませんが、チームで話し合われケースにより検討されています。	
34		○急変や事故発生時の備え 利用者の急変や事故発生時に備えて、全ての職員は応急手当や初期対応の訓練を定期的に行い、実践力を身に付けている	緊急時の対応についてマニュアルを作成している。そして、利用者の急変、事故発生時は訪問看護ステーションに相談できる体制を整え、実践している。		

自己	外部	項 目	自己評価	外部評価	
			実践状況	実践状況	次のステップに向けて期待したい内容
35	(13)	○災害対策 火災や地震、水害等の災害時に、昼夜を問わず利用者が避難できる方法を全職員が身につけるとともに、地域との協力体制を築いている	法人内で定期的に避難訓練をしている。また、自然災害発生時における事業継続計画（BCP）に基づき、研修を実施している。	同一法人の小規模多機能事業所と一緒に避難訓練を実施されています。また、自然災害発生時における事業継続計画（BCP）に基づき、研修を実施されています。地域の高齢者の避難施設にもなっております。	
IV. その人らしい暮らしを続けるための日々の支援					
36	(14)	○一人ひとりの尊重とプライバシーの確保 一人ひとりの人格を尊重し、誇りやプライバシーを損ねない言葉かけや対応をしている	一人ひとりの心身の状態に配慮した声の大きさ、話すスピード、表情に気をつけ、相手の理解を確認しながら言葉かけや対応を行っている。	排泄・入浴のプライバシー保護はマニュアルに従い行われており、同性介助の希望にも対応されています。一人ひとりの心身の状態に配慮した声の大きさ、話すスピード、表情に気をつけ、相手の理解を確認しながら言葉掛けや対応が行われています。	
37		○利用者の希望の表出や自己決定の支援 日常生活の中で本人が思いや希望を表したり、自己決定できるように働きかけしている	飲み物や着替えの服等、日々の生活で選択肢をもち、自己決定ができるよう支援している。		
38		○日々のその人らしい暮らし 職員側の決まりや都合を優先するのではなく、一人ひとりのペースを大切に、その日をどのように過ごしたいか、希望にそって支援している	本人の希望、日々の心身の状態に応じて、一日一日をその人らしく過ごして頂けるよう支援している。		
39		○身だしなみやおしゃれの支援 その人らしい身だしなみやおしゃれができるように支援している	本人の気持ちを大切に、季節、外出時等、その時々の場面に合った身だしなみ、おしゃれができる支援をしている。		
40	(15)	○食事を楽しむことのできる支援 食事が楽しみなものになるよう、一人ひとりの好みや力を活かしながら、利用者と職員と一緒に準備や食事、片付けをしている	食事の準備ができる方は少ないが、中でも野菜を切ったり、盛り付け、食器洗いなどができる方にはして頂いている。	朝食は手作り、昼食夕食は外注され、内昼食3回は調理員が来られ手作りで提供されています。ご飯と汁物は用意されています。畑もあり、夏野菜やさつま芋を収穫され献立やおやつに使われています。地域から魚をもらえることもあり、一番の楽しみは食事になるので、誕生日には好きなメニューを用意されたり、手作りケーキの提供も行われています。	
41		○栄養摂取や水分確保の支援 食べる量や栄養バランス、水分量が一日を通じて確保できるよう、一人ひとりの状態や力、習慣に応じた支援をしている	心身の状態に応じた形態で食事、水分を提供している。そして、食事、水分量は毎日記録している。また、居室でお茶を飲みたい方には水筒等で個々に対応している。		

自己	外部	項 目	自己評価	外部評価	
			実践状況	実践状況	次のステップに向けて期待したい内容
42		○口腔内の清潔保持 口の中の汚れや臭いが生じないよう、毎食後、一人ひとりの口腔状態や本人の力に応じた口腔ケアをしている	本人ができるところはして頂き、できない部分は介助している。また、口腔ケアをするために、口腔ケア用の介護用品を利用している方もいる。	本人ができるところは自分で行って頂き、できない部分は介助されています。また、口腔ケアをするために、口腔ケア用の介護用品を利用している方もおられます。義歯は残渣物を確認され清潔保持をされています。夜間は洗浄液に入れ、職員が見守りながら装着して頂いております。	
43	(16)	○排泄の自立支援 排泄の失敗やおむつの使用を減らし、一人ひとりの力や排泄のパターン、習慣を活かして、トイレでの排泄や排泄の自立にむけた支援を行っている	排泄に失敗のある方は排泄間隔を把握して、声かけによるトイレ誘導をしている。また、心身の状態に応じて、居室にポータブルトイレを設置して支援をしている。	チェック表で排泄パターンを把握されそれぞれの状態に応じて、声掛け、誘導、介助が行われています。最後までトイレで排泄していただけるよう支援されています。また、心身の状態に応じて、居室にポータブルトイレを設置して支援されています。	
44		○便秘の予防と対応 便秘の原因や及ぼす影響を理解し、飲食物の工夫や運動への働きかけ等、個々に応じた予防に取り組んでいる	便秘予防のため運動、乳製品などの摂取を意識したケアを行っている。また、排便について記録を行い、便秘のある方はかかりつけ医に相談をしている。		
45	(17)	○入浴を楽しむことができる支援 一人ひとりの希望やタイミングに合わせて入浴を楽しめるように、職員の都合で曜日や時間帯を決めず、個々にそった支援をしている	日中入浴となっているが、午前、午後と対応している。曜日を決めず、週に2回以上は入浴できるよう支援をしている。	1週間を通して入浴は可能になっています。日中入浴となっており、午前、午後と対応されています。曜日を決めず、週に2回以上は入浴できるよう支援されています。シャワーキャリーを寄贈して頂き浴槽に入ることが難しい方にも安心安全な入浴を楽しんで頂かれています。入浴拒否傾向の方もありますが、声掛けや日にちを変更する等工夫され入浴してもらわれています。	
46		○安眠や休息の支援 一人ひとりの生活習慣やその時々状況に応じて、休息したり、安心して気持ちよく眠れるよう支援している	個々の生活習慣、心身の状態に応じた室温、明るさに配慮している。		
47		○服薬支援 一人ひとりが使用している薬の目的や副作用、用法や用量について理解しており、服薬の支援と症状の変化の確認に努めている	一人ひとりのファイルに薬の説明書を綴じて薬の用法、用量を把握、確認できるようにしている。わからないことがあれば、かかりつけ医、かかりつけ薬局に相談している。	薬局から分包された薬が配達され、職員がダブルチェックをされ、それぞれ分けておられます。また一人ひとりのファイルに薬の説明書を綴じて薬の用法、用量を把握、確認できるようにされています。分らないことがあれば、かかりつけ医、かかりつけ薬局に相談されています。また、薬の変更時には職員に周知され、状態変化を注意し見守られています。何かあれば医師へ連絡され指示を仰がれています。	
48		○役割、楽しみごとの支援 張り合いや喜びのある日々を過ごせるように、一人ひとりの生活歴や力を活かした役割、嗜好品、楽しみごと、気分転換等の支援をしている	歌を一緒にうたったり、洗濯物をたたんだり、調理ができる方には一緒に野菜を切ってもらったり、一瞬でもその方の力が発揮できる場面を提供できるようにしている。		

自己	外部	項目	自己評価	外部評価	
			実践状況	実践状況	次のステップに向けて期待したい内容
49	(18)	○日常的な外出支援 一人ひとりのその日の希望にそって、戸外に出かけられるよう支援に努めている。又、普段は行けないような場所でも、本人の希望を把握し、家族や地域の人々と協力しながら出かけられるように支援している	季節に応じた場所に外出したり、当日の天候や本人の体調を考慮しながらドライブ等に出かけている。	近くに桜がたくさん咲く場所があり、四季の移り変わりや季節を感じて頂ける場所に外出されています。当日の天候や本人の体調を考慮しながらドライブ等に出掛けておられます。気候のよい時期には玄関先でお茶を楽しまれることもあり、外気を感じてのんびり過ごしてもらわれています。家族からの外出希望に職員と一緒に出かけられる方もあります。	
50		○お金の所持や使うことの支援 職員は、本人がお金を持つことの大切さを理解しており、一人ひとりの希望や力に応じて、お金を所持したり使えるように支援している	本人、家族と相談して、本人がお金を持ちたい希望があれば所持して頂いている。利用者の希望があれば、グループホームにくる移動販売車で買い物ができるよう支援している。		
51		○電話や手紙の支援 家族や大切な人に本人自らが電話をしたり、手紙のやり取りができるように支援をしている	本人の希望に配慮した対応をしている。また、プレゼント等が届いた際には、本人からお礼の電話ができるよう支援している。		
52	(19)	○居心地のよい共用空間づくり 共用の空間(玄関、廊下、居間、台所、食堂、浴室、トイレ等)が、利用者にとって不快や混乱をまねくような刺激(音、光、色、広さ、温度など)がないように配慮し、生活感や季節感を採り入れて、居心地よく過ごせるような工夫をしている	ホールの窓から自然の緑が見れるようにカーテンを開けたり、飾りつけ等季節感の工夫をしている。そして、毎日の掃除、温度や湿度の確認をし、居心地よく過ごして頂けるよう努めている。	ホールはゆったりとした空間になっており、窓から自然の緑が見れるようにカーテンを開けたり、飾りつけ等で季節感の工夫をされ、利用者の作られた作品も飾られています。そして、毎日の掃除、温度や湿度の確認、換気にも気をつけ、居心地よく過ごして頂けるよう努めておられます。	
53		○共用空間における一人ひとりの居場所づくり 共用空間の中で、独りになれたり、気の合った利用者同士で思い思いに過ごせるような居場所の工夫をしている	ホールにはテーブルが4つあり、気の合う方同士で過ごして頂いている。また、心身の状態に応じて席を変え居場所の工夫をしている。		
54	(20)	○居心地よく過ごせる居室の配慮 居室あるいは泊まりの部屋は、本人や家族と相談しながら、使い慣れたものや好みのものを活かして、本人が居心地よく過ごせるような工夫をしている	その人の思いいれのある家具などを持参して頂いている。希望があれば、なるべくかなえられるよう話し合っている。	最近は荷物の少ない方も多いですが、その人の思いいれのある家具などを持参して頂かれ、仏壇を持参されている方もあります。希望があれば、なるべく叶えられるよう話し合い居心地良く過ごせるよう工夫されています。ベッドの位置も動線に配慮されています。	
55		○一人ひとりの力を活かした安全な環境づくり 建物内部は一人ひとりの「できること」「わかること」を活かして、安全かつできるだけ自立した生活が送れるように工夫している	トイレはわかりやすいようにトイレの張り紙をしている。また、転倒防止のため手すりをはじめ、なるべく切れ目なく体の支えとなる洗面台、タンス、ベッドボード等が活用できるようにしている。		